

# 施策分野評価シート

## 1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	1	誰もが健康ですこやかに暮らせるまち
施策分野	4	地域・生活福祉
10年後のめざす姿	地域でのゆるやかな見守り、ささえ合いがあって、困ったときに相談や必要な支援を受けることができ、住み慣れた地域で安心して暮らしています。	

## 2 施策数値指標

指標名	現状値	実績				令和7年度 目標値 (実績値)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
近所との付き合いをほとんどしていない人の割合	18.2% (令和元年度)	—				17.0% ( )
町内で福祉ボランティア活動や助け合い活動を活動している人の数	2.1% (令和元年度)	—				3.0% ( )
説明・コメント		※ 地域福祉保健計画における指標の2項目は、令和6年度にアンケートを実施予定				-

## 3 予算・決算の状況

(単位:千円)

### 予算額

事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	84,429				
国庫支出金	0				
都支出金	10,773				
地方債及びその他の特定財源	0				
総事業費(計)	95,202	0	0	0	0

(単位:千円)

### 決算額

事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	84,206				
国庫支出金	0				
都支出金	10,773				
地方債及びその他の特定財源	0				
総事業費(計)	94,979	0	0	0	0

## 施策の評価(分析)

コロナ禍においても、相談体制を維持し関係団体と情報交換しながら、それぞれの団体が地域で困っている人に寄り添っている。困りごとの解決に向けて、権利擁護センターを中心に重層的な相談業務、支援体制の充実に向けて取り組んでいる。また、ふれあいセンターでは、テレワークの需要に対応し、サテライトルームの設置運営を行ったことは評価できる。

4 重点施策			担当課	福祉課
施策	1	地域福祉の推進	基本構想・重視すべき視点	つながる地域づくり
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	社会福祉協議会、民生・児童委員協議会、保護司等と連携し第4次地域保健福祉計画の進捗状況を確認した。		新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面でのコミュニケーション不足が懸念される。そのような中でもおひさまキッチンでは延べ124名ものボランティアの方が参加し、多世代間交流事業を行っていることは評価できる。今後も多世代で地域福祉活動を継続するにあたり、各団体とさらなる連携を強化されたい。	
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				

			担当課	福祉課
施策	2	生活困窮世帯への支援	基本構想・重視すべき視点	つながる地域づくり
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	住民税非課税世帯や新型コロナウイルス感染の影響で家計急変のあった世帯を支援する給付金を給付した。		年度途中で緊急に進めなければならなくなった臨時特別給付金事業だったが、制度を構築し遺漏なく効率的に実施したことは評価できる。	
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				

#### 5 個別事務事業概要

(単位:千円)

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
1	ふれあいセンターの施設管理	福祉課	18,170	18,170	17,970
			事務事業の概要 再掲として、7-4 公共施設マネジメントに記載あり 指定管理者制度を導入し、住民だれもが安全、安心に使用できる「瑞穂町ふれあいセンター」(以下「センター」という。)として、利用者に配慮した会議室の貸し出し方法などを含めた住民サービスの充実を目標とする。また、一人でも多くの方がセンターを利用してもらえるように、PR活動を行う。		
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
2	権利擁護事業の推進	福祉課	16,761	16,538	16,443
			事務事業の概要 知的障がい者・精神障がい者・高齢者・認知症など判断能力が十分でない方が、悪質商法の被害にあったり、相続、売買などの法律問題に直面したとき不利益を被らないように保護し、支援する。また財産管理にとどまらず、その人が自分の望む生活を実現し、生活し続けるために援助することを目的とする。また以下の業務は主として社会福祉士が実施している。		

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
3	地域福祉活動支援	福祉課	60,271	60,271	61,792
			事務事業の概要 ・地域福祉を推進する上で中心的役割を担う社会福祉法人瑞穂町社会福祉協議会(以下「社協」という)と連携し、地域福祉活動の充実を図る。また、地域の様々な福祉活動やボランティア活動への参加を推進する。 ・社協への助成金の内容確認は福祉課職員が行い、派遣職員は職員給与、経理(出納・財務会計含む)予算・決算・事業計画・報告等庶務全般に関することなどを行っている。社協と町行政の協力関係を強化するため、福祉課職員が社協職員との連絡を密にとり、町の政策との整合性を図る。 ・民生委員・児童委員協議会、保護司、ボランティア団体・NPOの活動に必要な情報提供及び支援を行う。		
合計額			95,202	94,979	96,205